

# 芳賀中部上水道企業団水道事業の概要







芳賀中部上水道企業団は、栃木県の東南部に位置する益子町、芳賀町、市貝町の3町を構成町とする水道事業の一部事務組合です。

県都宇都宮市の東側に隣接する当企業団は、給水人口約50,000人、給水区域内面積224平方キロメートルの田園風景の広がる自然豊かな純農村地帯です。

米作を中心とした農業と自動車産業や生活用品を生産する工業とのバランスのとれた町として、また益子焼で全国的にも有名な陶器の町として発展するなど、それぞれの特性を生かした町が展開されています。

交通は、JR宇都宮駅から車で約40分、北関東自動車道真岡ICから約30分です。



事務所

芳賀中部上水道企業団は、益子町、芳賀町、市貝町の3町が構成町となり昭和45年10月に設立、昭和46年3月に栃木県知事の事業創設認可を受け、昭和47年7月から水道用水供給事業を開始しました。

益子町は昭和34年4月から、市貝町は昭和41年9月から供給を開始しましたが、両町とも需要に合った水源の確保が困難な状況にありました。また、芳賀町は地下水に恵まれていたため、水道事業の開始が遅れていましたが、芳賀中部上水道企業団設立と同時に全量受水する水道事業を開始しました。

昭和62年度から芳賀町、益子町は、栃木県鬼

怒水道用水供給事業からも受水し、水需要に対応してきました。

市貝町は、平成2年度に第5期拡張事業として、赤羽浄水場や伊許山配水池を整備し、給水量の不足を補ってきました。

このような状況から、平成15年4月1日構成町の水道事業を統合し、水源から末端給水までの業務を一元化し、効率的な事業運営と安心・安全で安定した水道水の確保を図るため、計画給水人口54,490人、計画一日最大給水量21,795m<sup>3</sup>の広域水道事業体として事業を開始しました。



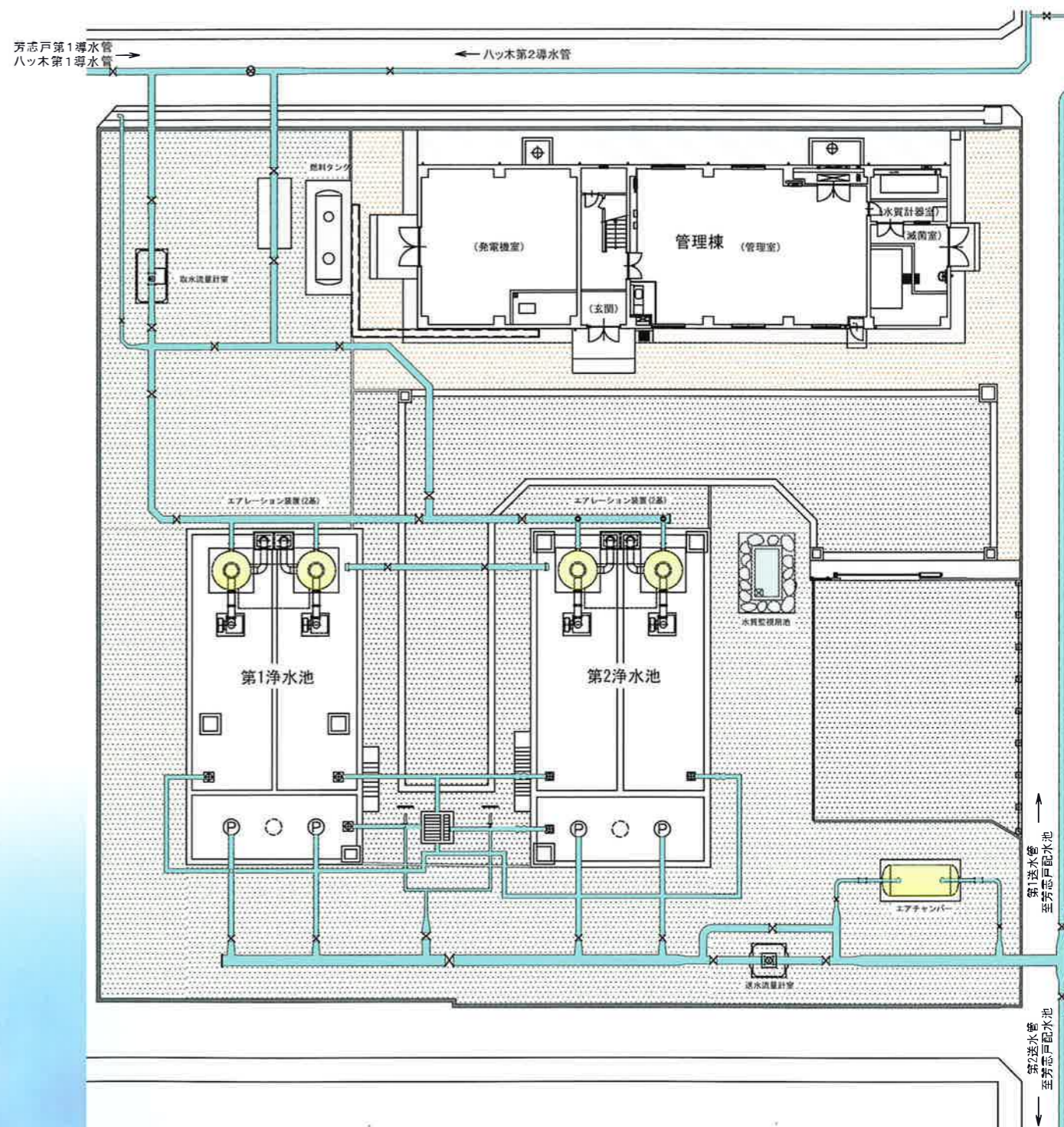


所在地：芳賀郡芳賀町大字芳志戸 2711-5  
 敷地面積：3,146.89㎡  
 給水開始：昭和47年7月(改良完成：平成24年3月)  
 施設能力：18,715㎡/日

《施設概要》

名称	形状寸法
取水施設	芳志戸第1水源 3,500㎡/日 RC造 内径5.0m 深さ7.20m 1井 八ツ木第1水源 5,500㎡/日 RC造 内径5.0m 深さ7.20m 1井 八ツ木第2水源 9,715㎡/日 RC造 内径6.0m 深さ7.75m 1井 (計画取水量 18,715㎡/日)
導水管	芳志戸第1導水管 DIP(A) φ250mm L=16.0m 八ツ木第1導水管 DIP(A) φ250mm L=46.7m DIP(A) φ350mm L=362m 八ツ木第2導水管 DIP(K) φ300mm L=990.0m
エアレーション設備	内径2.4m × 高さ4.5m × 4基 (SUS製) 処理水量 18,720㎡/日 (4,680㎡/日 × 4基)
滅菌設備	次亜塩素酸ソーダ (流量比例方式) タンク容量 1.5㎡ × 2槽
浄水池	有効容量 1,400㎡ (RC造 内法20m × 10m × 3.5m × 2池)
送水ポンプ	水中多段ポンプ φ200mm × 4.3m/分 × 90m × 110Kw - 4台 (内1台予備)
エアチャンバー	ウォーターハンマー防止用 12㎡ (空気補給式)
非常用発電設備	ガスタービン発電機 (625KVA) 1基 燃料タンク 10,000ℓ
送水管	第1送水管 DIP(A) φ300mm L=2,656m 第2送水管 DIP(K) φ300mm L=2,720m

芳志戸浄水場平面図



次亜塩素酸ソーダ注入設備

非常用自家発電機

電気計装室